


平成29年度 地域貢献研究助成費 実績報告書

平成30年3月21日

報告者	学科名	デザイン工学科	職名	教授	氏名	森下 眞行
研究課題	廃材を利用した「倉敷市玉島地区の産業や技術、歴史の魅力を伝えるカードゲーム」の開発 _その3					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表 森下 眞行	デザイン学部 デザイン工学科・教授		プロダクトデザイン	研究統括リーダー	
	分担者 大月 浩子	DEA R LAB 代表/ 国立歴史民俗博物館 客員准教授		博物館教育・美術教育・ワークショップ	研究分担者	
	上田 篤嗣	デザイン学部 デザイン工学科・助教		情報デザイン	研究分担者	
	丸山 純平	デザイン学研究科 1年		プロダクトデザイン	研究分担者	
研究実績の概要	<p>1【研究目的】 本研究では、倉敷・玉島地区の企業や工場の持つ産業や技術の魅力を、地域の住民や若い世代へ伝えるため、企業や工房から不要になった廃棄物を収集活用した教育的かつ創造的なカードゲーム「Hi! Zai Card Game Ver.Tamashima」の開発を、大学の地域貢献の一貫として、この分野の先駆者である大月浩子氏（IDEA R LAB 代表、倉敷市玉島出身）と共同で取組んでいる。</p> <p>2【研究実績】 平成29年度は、製品化に向けて、3回にわたり公開シミュレーションを実施すると同時に、海外での販売可能性を探るために共同研究担当の大月ヒロ子氏が企画するフィラード交流プロジェクトに参加した。</p> <p>公開シミュレーション ・OPU フォーラム2017 平成29年5月29日（水）岡山県立大学体育館 地域貢献特別研究発表の場にて、会場内にて廃材ゲームを実施した。</p>					
						

※ 次ページに続く

・真庭市環境市民会議 平成 29 年 6 月 5 日（月）真庭市久世公民館大ホール
真庭市第 2 次環境基本計画に関わり、環境市民会議のメンバーとして参加した第 1 回会議にて、廃材カードゲームが採用され、メンバー交流に役立てた。



・龍泉寺の紅葉スタンプラリー2017 平成 29 年 11 月 12 日（日）龍泉寺
龍泉寺の自然をも守る会が主催する龍泉寺スタンプラリー2017（岡山市 ESD 助成金事業）に共催者として参加し、地域貢献活動として廃材カードゲームを行った



・フィンランド交流プロジェクト 平成 29 年 6 月 8 日（火）～12 日（月）
UU6 リサイクルセンター及びPCYCLING DESIGN CENTERでの廃材カードゲームのプレゼンテーションを行った。

3 【まとめ・今後の課題】

公開シミュレーションを 3 回実施し、その中でユーザーニーズの確認ができ、商品化への実現可能性が確実にあることが検証されたが、製作費の調達面での目途が立っていないことや共同研究分担者の大月ヒロ子氏が、おかやま文化芸術アソシエイツのプログラム・コーディネーターとして多忙になり、実現については平成 30 年度に再考することになった。

研究実績
の概要

成果資料目録

1. 龍泉寺龍泉寺の紅葉スタンプラリー2017 報告書一式
2. フィンランド交流プロジェクト報告書